

ものづくり工作実習

○平田正昭，白川武敏，倉田 大，中村秀二，清水久雄，廣田将輝

機械製作グループ

1 目的

知能生産システム工学科、マテリアル工学科の授業科目ではモノづくりに必要不可欠な基盤技術である「機械工作」の学生実習が行われているが、これらの学科以外の学生や教職員にとっては工作機器などを使う機会は殆どない状況にある。一方、実験機材の準備をはじめ、学生を主体としたモノづくり競技会（ソーラーカーや橋梁模型の製作）参加など工学系の学生全般にモノづくりの経験が有用となる場が多数ある。そこで中央工場所有の工作機械を使い、主に機械工作実習を受けたことのない教職員・学生を対象に講習会を企画した。参加者の機械工作技術・技能習得とスキル向上、併せて安全な作業方法の理解を目的とする。

2 内容

溶接 溶接概要と特徴，基本操作とアーク発生，ビード引き練習，突合せ溶接，その他



被覆アーク溶接



ビード引き練習

3 受講者と講師

受講者：社会環境工学科（学部生 6 名）

講師：白川武敏，平田正昭（2 名）

4 実施場所および期間

場 所：工学部 中央工場A棟

期 間：平成 28 年 6 月 22 日，6 月 29 日，7 月 5 日

5 まとめ

今年度のものづくり工作実習募集に対し、溶接技能を身に付けたい学生の受講要望が寄せられた。

旋盤、ボール盤、NC フライス盤も準備を進めていたが応募者が無く今年度は実施を見送った。

溶接講習受講者は身に付けた技能を基に練習を重ね橋梁模型を製作。

前橋工科大学で行われた第7回 JAPAN STEEL BRIDGE COMPETITION（大学、高専生による橋梁模型製作競技会）に参加している。